



医療法人グランセル SDGs宣言

「佐藤実病院の私達は、今日一日を奉仕と愛情の心を持ち誠実に、明るく、礼儀正しく常に、親切で、感謝の気持ちを忘れず和の精神に基づき充実した一日を過ごしましょう」との病院訓のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決、および持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2025年4月25日

医療法人グランセル
理事長 佐藤 公治



重点項目(ターゲット2030)

地域に根差した病院

大腸・肛門外科の専門病院として、高度な医療機器と経験豊富な職員による良質な医療サービスを提供します。また、自治体や医療機関との連携を深め、地域医療を支えます。

【主な取り組み】

最新医療機器の導入、プライバシーに配慮した診療、在宅医療における支援体制の確立、医療相談室の設置、自治体・近隣病院との連携強化



安全で信頼される病院

徹底した医療安全管理体制のもと、医療事故を防止し、患者の安全確保に努めます。また、職員一人ひとりのコンプライアンス意識を高め、皆さまから信頼される病院を目指します。

【主な取り組み】

医療安全管理指針・院内感染対策指針の策定、患者情報の厳正な管理、関連法令等遵守の徹底、病院訓の周知徹底



働きやすい職場づくり

役職員の健康と安全に配慮し、個々のライフスタイルを尊重した働きやすい職場づくりに努めます。また、職員のスキルアップを応援し、未来を担う人材を育成します。

【主な取り組み】

健康管理・増進支援、柔軟な勤務体系の導入、休暇制度の拡充、有給休暇の取得促進、資格取得支援、外部研修への派遣



環境保全への取り組み

環境問題を重要な経営課題のひとつと位置づけ、医療現場で生じる廃棄物の適正な分別処理に取り組みます。また、省エネ・省資源に取り組み、当院が身近でできる環境負荷の低減に努めます。

【主な取り組み】

医療廃棄物の適正な分別処理、院内照明のLED化、省エネ対応空調機の導入、エコラベル商品の使用、ペーパーレス化の促進



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。